



EK9のスタイリングに惚れ込み、ボディとボリュームバランスが整った16インチのシンプルスタイルでアプローチする。片岡信和さん & 真由美さん夫妻。ステップリムに色合いが映えるアルマイトブロンズと艶感がキレイなガンメタディスクのコンビネーションへ目をつけたのは信和さんだったが、真由美さんのEK9へ先にマッチングしたため、自身のEK9ではディスクカラーをゴールドに変更。同アルマイトブロンズでも異なるイメージを引き出した。



カスタムオーダープランにはクリアカラーや全12色のセミオーダーカラー、エクストラセレクトにはヴィヴィッドカラーのカラリズムやアングルによって発色に変化するアステリズム、透け感が美しいカラリズムクリア・キャンディカラーなどを設定。1Pから3Pまでディスクカラーを多彩にカスタムすることが可能だ。ボディの差し色と足元をリンクさせるなど狙いのカラーが決まっているのなら、適用可能なホイールを狙っていくアプローチもあり。



に、バファアルマイトリム&シルバースポルトを組み合わせた展開。通常オプションでカラー変更可能なのは、ピエスボルトとエアバルブのみだ。しかし、EK9のオーナーである片岡夫妻は「ノーマルをリスペクトしたシンプルスタイルだからこそ、足元にはオリジナリティある存在感が不可欠」と考え、1台はゴールドディスク&ブロンズアルマイトリム、もう1台はガンメタディスク&ブロンズアルマイトリムでマイスター・CR01をカスタムオーダー。キャンバー角まで含めてこだわった履きこなしと合わせ、気品あるスポーティさを打ち出している。

尚、ディスクの映り込みで発色加減が異なっているため、2台の足元は同じブロンズアルマイトリムでも異なるイメージ。こうした陰影まで積極的に利用していけば、たとえ車種&ホイールが被っていてもオリジナリティをしっかりと打ち出せるわけだ。

こだわりのスタイリングを突き詰めるなら、魅せ場となる足元を多彩に表現できるワークのカスタムオーダープラン&エクストラセレクトは、これ以上ない味方といっても過言じゃない。創造力をかき立ててくれる充実のカスタムメニューを駆使し、オンリーワンな足元を手に入れよう！



マイスター・CR01 (ガンメタディスク×ブロンズアルマイトリム)
FR 9J×16+20 (15mmワイトレ) R 9J×16-6
FR 195/40ZR16 (ナンカン・NSIIプラス)

明るい発色となるゴールドディスクを雑味なく引き立てるためにピエスボルトは標準のまま、バルブはアルマイトブロンズリムとの一体感を高めるためブラックへ変更。リム貼り想定の高抜き文字ステッカーをスポークにあしらった部分も、オリジナリティの打ち出しとして見逃さない。



WORK

CUSTOM ORDER PLAN & EXTRA SELECT

☎ ワーク ☎ 06-6746-2859 <https://www.work-wheels.co.jp>

ホイールを遊ぶカスタム術

ホイールチョイス時には誰もが履きこなしやデザイン、カラーといった部分まで吟味するだろうが、それでもカタログモデルだと想像以上に選択肢は狭く、オリジナリティが思うように打ち出せない。そこで注目したいのが、ワークが用意するカスタムオーダープラン&エクストラセレクトだ。



モデルによって内容は変わるが、2P&3Pのマルチピースならリムのアルマイトカラー変更やブラッシュドやカットアルマイト、マットアルマイトといったフィニッシュにこだわることもできる。尚、3Pのマイスター・CR01は、濃色のアウトターリムにするとインナーリムはブラックアルマイト、淡色系のアウターリムにするとインナーリムはアルマイトとなるが、アルマイトのインナーリムをブラックアルマイトに変更可能なインナーリムアレンジも設定されている。

多彩なカスタムメニューを駆使すれば、ワンオフに匹敵する個性が打ち出せる！

ファッションにおいて「オシャレは足元から」と言われるように、クルマにおいても足元をどう決めるのかが、がスタイリングの仕上がり左右するのは周知の事実。ホイールで個性を際立たせたいと思うなら、ワークが展開する「カスタムオーダープラン&エクストラセレクト」を要チェックだ。

1ピースかマルチピースかといったホイール構造や、デザインに応じて適用可能なメニューは変わるが、ホイールオーダー時にディスクやリムのカラーやフィニッシュを自在にアレンジできる効果は絶大。カタログモデルにはないスペシャルカラーで魅せるだけでなく、ボディの差し色と足元をリンクさせたり、同系の質感の違いにこだわったり、と、アイデア次第で無限大の表現方法を手にすることができ。

さて、そんなアレンジ術を巧みに採り入れた好例として、今回はマイスター・CR01をカスタムオーダープランで魅せる2台のEK9をクロージスアップ。

そもそもマイスター・CR01は、カタログモデルだとマットカーボン、バフフィニッシュ、チタンゴールドのディスクカラー



マイスター・CR01 (ガンメタディスク×ブロンズアルマイトリム)
FR 9J×16+20
FR 195/45R16 (ATR・ATRスポーツ)

一見はカタログモデルのマットカーボンと同じ色合いに見えるガンメタディスクだが、アルマイトブロンズリムと艶感を揃えるためのカラーアレンジ。こちらもゴールドディスク同様の考えでピエスボルトは同系色となるブラックへ変更し、バルブもアルマイトブロンズリムとの一体感が高まるブラックとした。

ボリュームなセンターパッケージとスリムなショートスポークで構成された『ワークエモーションRS11』。締結部の剛性を高めあげながら駄肉を削ぎ落としていくスポークディッシュは、往年のモータースポーツシーンを彷彿させる1本だ。

さて、真っ先に注目すべきは、RS11最大の魅せ場となるセンターパッケージだろう。面強調で逞しさを打ち出すディッシュ形状だが、ここがフラットな仕上がりだとスポーツホイールらしい躍動感が生み出せない。

そこで、重厚さを放つセンターパッケー

ジに与えられたのは、コンケイブ形状とディスクステッカー。ステップリムで放つ深みとの相乗効果も踏まえつつ、鋭角なアングルから見た場合でもディスクステッカーがアクセントとして冴える絶妙な落とし込みとボリュームに仕上げられている。

また、センターパッケージとリムをつなぐ11本のショートスポークも、シンプルでいて繊細な仕上がりだ。ボリュームを稼ぎ出したセンターパッケージを際立たせるためにスポーク天面のスリムさを突き詰めながら、スポーク間には剛性を高めるリブをプラス。センターのコンケイブ形状を引き出すために鋭角な立ち上

げとしたスポークエンドとともに、スポーツホイールらしい躍動感をしっかり打ち出してきた。

なお、ディスクカラーは足元がスッキリ際立つホワイト、重厚なスポーティさを放つブラックの2タイプのみだが、2ピースならではの突き詰めた履きこなしに、リムアレンジやセンターキャップなどのカスタマイズまで加えていけば、唯一無二の足元に上げることが可能。ムッチリとしたサイドウォールと相性バツグンなRS11の味わい深さを武器に、新旧コンパクトスポーツを逞しき躍動感を放つネオクラスタイルへと導いていこう。



アーチラインに対してのバランスも考慮して205/45R16を履くイーブライム・EK4は、スポークディッシュとタイヤの逞しで足元を引き立てたシンプルレーシーな1台。タイヤ外径から生まれる腰高感は車高の低さでカバーすべく、フロント9J×16+20、リア9J×16+15の引っ張りマッチングによってクリアランスを確保している。

INCH	SIZE	DEEP RIM (O disk)		PRICE
		インセット	リム深さ	
15	5.5J	43~20	42~65	¥50,600
	6.0J	49~35	42~56	¥51,700
	6.5J	55~29	42~68	¥52,800
	7.0J	62~22	42~82	¥53,900
	7.5J	68~16	42~94	¥55,000
	8.0J	74~10	42~106	¥56,100
	8.5J	81~4	42~119	¥57,200
	9.0J	85~-3	44~132	¥58,300
	9.5J	85~-9	50~144	¥59,400
	10.0J	85~-16	57~158	¥60,500
16	6.0J	42~36	43~49	¥55,500
	6.5J	48~30	43~61	¥56,100
	7.0J	55~23	43~75	¥57,200
	7.5J	61~17	43~87	¥58,300
	8.0J	67~11	43~99	¥59,400
	8.5J	74~4	43~113	¥60,500
	9.0J	80~-2	43~125	¥61,600



サイドにリブを与えて剛性を確保したスリムショートスポークは正対すればスタイリッシュに、アングルをつければスポーティに映える。開口部やスポーク太さがセンターパッケージのボリューム感に好バランスとなる11本配置だ。



往年のモータースポーツシーンを彷彿させる、RS11のスポークディッシュ×ステップリム。ボリュームなセンターパッケージで視線を惹きつける1本だが、積極的な駄肉削ぎ落としによりシリーズ内マルチピース最軽量を誇っている。



美しい深みを放つステップリムはバフアルマイト仕上げを標準とするが、カラーアルマイトやブラッシュドなどのリムアレンジにも対応している。深みの引き出しとともにカスタムにまでこだわり抜ける。

INCH	SIZE	STANDARD (A disk)		DEEP RIM (O disk)		BIG CALIPER (R disk)		PRICE
		インセット	リム深さ	インセット	リム深さ	インセット	リム深さ	
17	6.0J	32~27	43~48	40~35	43~48	20~15	43~48	¥59,400
	6.5J	38~21	43~60	46~29	43~60	26~9	43~60	¥60,500
	7.0J	45~14	43~74	53~22	43~74	33~2	43~74	¥61,600
	7.5J	51~8	43~86	59~16	43~86	39~-4	43~86	¥62,700
	8.0J	57~2	43~98	65~10	43~98	45~-10	43~98	¥63,800
	8.5J	64~-5	43~112	72~3	43~112	52~-17	43~112	¥64,900
	9.0J	70~-11	43~124	78~-3	43~124	58~-23	43~124	¥66,000
	9.5J	76~-17	43~136	84~-9	43~136	64~-29	43~136	¥67,100
	10.0J	83~-24	43~150	85~-16	43~150	71~-36	43~150	¥68,200
	10.5J	85~-30	47~162	85~-22	55~162	77~-42	43~162	¥69,300

※15&16インチのDEEP RIM (O disk)は、4H-100
 ※17インチのSTANDARD (A disk)は、4H-100/5H-114.3
 ※17インチのDEEP RIM (O disk)は、4H-100/5H-100/5H-114.3
 ※17インチのBIG CALIPER (R disk)は、5H-114.3
 ※ディスクカラー：ホワイト、ブラック ※標準リム：バフアルマイトリム
 ※カスタムオーダープラン：リムアレンジ、リムレーザーカットカスタム(15インチ不可)
 ※付属品：エアバルブ、ディスクステッカー
 ※ディスクステッカー：ディスクがブラックの場合、ホワイトレッド/ガンメタ セット
 ディスクがホワイトの場合、ブラックレッド/ガンメタ セット
 ※価格は税込みになります

ホイール特集のラストは最新モデル8作品を一挙紹介。進化するチューニングカーに見合った性能を与える新技術や、新デザインが盛り込まれた意欲作のコンセプトを読み解いてほしい。

ディスクカラーに合わせたホワイト・レッド、ブラック・レッドのほか、抜き文字仕様のガンメタも同梱。センターパッケージのボリューム感打ち出しを重視するなら、アウトラインのみでシンプルにしたガンメタをあしらうといい。



ディスクステッカーありきでボリュームを整えたセンターパッケージは、プレスラインを境界線にして緩やかにコンケイブさせている。デザインと強度を突き詰めるため、15&16インチはP.C.D.100の4Hのみを設定する徹底ぶりだ。



WORK

WORK EMOTION RS11

ワークエモーション・アールエスイレブン

© ワーク ☎06-6746-2859 <https://www.work-wheels.co.jp>



逞しき躍動感を足元から放つ
 オールドスクールなスポークディッシュ



INCH	SIZE	PRICE
18	7.0J~12.5J	¥68,200~¥83,600
19	7.5J~12.5J	¥78,100~¥92,400
20	8.0J~12.5J	¥90,200~¥103,400

※ディスクカラー：チタンブロンズ、ブラック、アズールホワイト、グリミットブラック
 ※カスタムオーダープラン：リムアレンジ、セミオーダーカラー、特殊P.C.D.
 ※付属品：エアバルブ、スポーツデカール(レッド1枚)
 ※価格は税込みになります



約 2年前に登場して以来、高い支持を得る1ピースモデル『ワークエモーションZR10』。ワークが誇る軽量高剛性のスポーツホイールだ。

このZR10のデザインはそのままに、ディスクとリムを分割して組み上げる2ピース構造にしたのがこのZR10 2P。2ピース化することで1ピースでは対応しきれなかったカスタマイズが可能となり、機能性に加えてファッション性も高めてきたわけだ。

2ピース化により1mm単位でのインセットオーダーが可能になり、ディスクとリムのカラーを変更してオリジナリティの追求が可能。1ピースでは対応できなかった、ワンオフホイール並みのカスタムができるのだ。

もちろん、ZR10の特徴である軽量高剛性というスポーツ性能は継承。センターホール部の肉抜きやスポークにリブを持たせて軽量化と高剛性を両立するデザインを採用している。

ワイドフェンダーと合わせて、ギリギリまで攻めたホイールのセットアップで魅せつつ、走りも楽しみたいと思う人なら、ZR10 2Pは待望の1本と言えるだろう。

リムはスタンダードに加え、ビッグキャリバー対応の深いリムと浅いリムの3種類を設定。ディスクは2種類あり、ビッグキャリバー対応を選択するとミドルコンケイブに、スタンダードリムを選択するとディープコンケイブになる。



WORK

WORK EMOTION ZR10 2P

ワークエモーション・ズィーアールテンツーピー

☎ワーク ☎06-6746-2859 <https://www.work-wheels.co.jp>



装着するZR10 2Pは、前後とも9.5J×18でインセットは30。カラーはディスクがグリミットブラックで、リムがブラックアルマイトを選択している。タイヤはアドバンネオバAD08Rで、サイズは225/40R18だ。



スポークにはリブが設けられ、そのリブは丸みを帯びたR形状でデザインされている。このRを持たせることで、斜め方向への剛性も高めているのだ。

センターにあるナットホールの側面は、マシニング切削を実施。強度解析によって強度や剛性に関係しない部分は、肉抜き処理など徹底して軽量化している。



本来の硬派なスポーツ性能の魅力に2ピース化でカスタム対応力を融合